

戦没者遺児による慰霊友好親善事業
終戦80年並びに本事業実施35周年記念「洋上慰霊」の実施計画概要
令和6年7月

1 目的

戦没者遺児による慰霊友好親善事業は、遺児が亡き父の終焉の地を巡り慰霊を行うと共に、因らずも戦禍に巻き込まれた旧戦域の方々との友好親善を通して、恒久平和な社会の構築を願う意識を醸成するもので、同事業は平成3年度より政府の補助金等を受け、本会が実施しております。

しかし、遺児の高齢化による参加者の減少を受け、令和7年度で同事業を終了することといたしました。

そこで、終戦80年並びに本事業実施35周年を迎える令和7年度は、これを記念し、かねてより海に鎮まる御霊に慰霊の誠を捧げたいとする要望の多かった洋上慰霊を計画、実施します。

洋上慰霊は船舶借上げ費用が高額のため、過去2回しか実施できていない(本事業20周年(平成22年度)、終戦70周年(平成27年度))ため、参加できなかったご遺族からも今一度実施してほしいとの要望が多くあがっています。

今回計画した地域は前々回同様、外洋巡拝であり通常実施することが困難な地域です。海に鎮まる30万余の御霊の慰霊を行うと共に、旧戦域の方々との友好親善を目的とし、加えて遺児の記憶を次世代へ伝承する語り部の育成に努める。

2 参加資格 先の大戦において父等を海域で亡くされた戦没者の遺児を優先する

3 選考基準 本会選考基準による。但し、今回実施する海域の方を優先する

4 参加費 10万円(但し燃料費の高騰や円安等諸般の事情により値上げする場合があります)
その他、過去に同事業に参加された方には協力金を別途いただく

5 実施時期及び期間

- ① 実施時期 令和7年6月上旬
- ② 実施期間 約11日間(集合日等含む)

6 運航航路等

予定運航航路 神戸発着 右下の航路図参照

7 洋上慰霊祭予定地(海上)

東シナ海、台湾・バシー海峡、フィリピン西方・東方、南薩諸島沖等

8 募集人員 各支部 原則7名程度 計 約300名
※各支部参加者の中から1名の世話人を推薦いただく

9 船の概要

総トン数・約2万トン超、船級・国際遠洋級(日本国籍船)

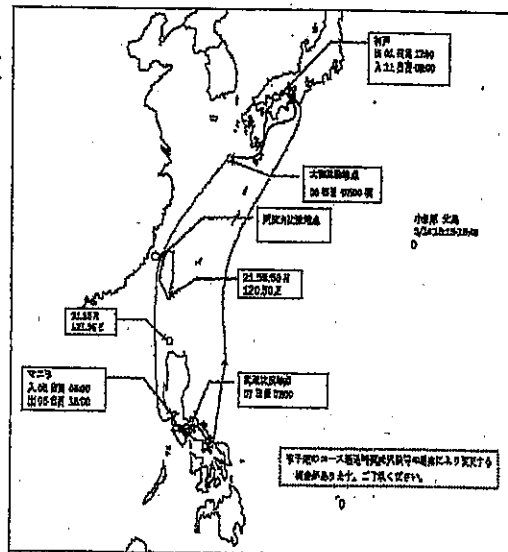
10 集合場所及び解散場所、国内交通費等

集合場所・解散場所は、兵庫県とする(予定)
集合場所にて、結団式及び渡航手続き、説明会を行う
集合場所及び帰郷する交通機関等の交通手段の手配は各自で行う
(経費は個人負担・旅行業者を斡旋)

11 申し込み方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ

12 問い合わせ先

一般財団法人 日本遺族会 事業担当
電話 03-3261-5521 FAX 03-3261-9191



※本事業は厚生労働省が事業実施主体を公募し、補助金交付団体を決定する。
このため本事業の実施については、令和7年度に本会が補助金交付団体と選定されてからとなります。
また、実施時期、日程等は相手国の事情や船舶借上げ等の都合により、変更や取止めとなる場合がありますので、予めご承知おきます。

洋上慰霊日程 (案)

令和6年10月31日 現

日次	月 日	発着地等	スケジュール
1	6月1日 (日)	神戸 (日本)	午後：受付後、船内へ 結団式及び渡航手続き説明会 17時頃出港予定
2	6月2日 (月)	終日航海	午前 講演 水落会長 ① 午後 九州沖洋上慰霊祭
3	6月3日 (火)	終日航海	② 午前 東シナ海洋上慰霊祭 午後 講演 平和の語り部
4	6月4日 (水)	終日航海	③ 午前 台湾海峡洋上慰霊祭 午後 講演 平和の語り部、事例等
5	6月5日 (木)	終日航海	④ 午前 台湾・バシー海峡洋上慰霊祭 ⑤ 午後 ルソン島西方沖洋上慰霊祭
6	6月6日 (金)	午前 マニラ 入 夕刻 マニラ 出	午前 マニラ入港：9時頃 全戦没者追悼式 午後 懇談会：友好親善 (船内にて)
7	6月7日 (土)	終日航海	⑥ 午前 シブヤン海洋上慰霊祭 午後 講演 水落会長
8	6月8日 (日)	終日航海	⑦ 午前 レイテ島東方沖洋上慰霊祭 午後 講演 語り部座談会
9	6月9日 (月)	終日航海	⑧ 午前 太平洋沖洋上慰霊祭 午後 講演 語り部：実演
10	6月10日 (火)	終日航海	⑨ 午前 南薩諸島沖洋上慰霊祭 午後 入国説明会、講演 船長 夕刻 解団式：懇談会
11	6月11日 (水)	神戸 (日本)	9時頃入港予定 下船

※ 日程案は後日、調整する場合があります。

【 洋上慰霊 航路予定図 】

